



講習を行った谷戸公会堂

特徴・ポイント

事故や災害は、いつでも起きるかわかりません。それに対応するために、救急救命講習を受講する年齢に制限を設けず、幅広い年齢層を対象としています。救急救命講習当日は、小学生からお年寄りの方まで幅広い年齢の自治会員が集まりました。

また、救急救命講習は、人形を囲んで実習形式で行われるため、今まで知らなかった方も自然とコミュニケーションを取るようになります。会話をし、人と人の繋がりを深めることが、事故や災害時にも役立ちます。

課題・展望

今年度から開始された救急救命講習ですが、毎年継続して10名程度の人が受講することにより、10年後には、谷戸自治会の1家に1人は、救急救命講習修了者になる計算になります。救急救命講習修了者が増えれば、初期救命活動がしやすいだけでなく、日ごろの防災活動に対する意識向上にも繋がります。

しかし、実際に災害や事故が起きた場合、救急救命講習を受講しただけでは不安が残ります。災害や事故発生時、地域では救急救命活動だけでなく、災害弱者の救助・非常用食料の確保・避難ルートの確保・家族との連絡等多くの活動が求められます。

そうした際でも、パニックにならず行動ができるよう、自治会内や家族の間で行動マニュアルを整備し、災害に備える必要があります。今回の救急救命講習が、地域防災力を高めるき



2組に別れて、救急救命講習を開催

災害に強いひとづくり ～救急救命講習～

事例の概要

谷戸自治会では、御嶽公園や道保川の清掃・お祭り・どんど焼き等、年間を通して多くの行事を開催し、地域でのコミュニケーションを大切にしながら活動しています。また、閑静な住宅街で夜間静かであるという地域の特徴から、自分たちで地域を守るための防犯活動も充実させています。防犯灯の設置・防犯パトロール・防犯チラシの配布を継続して実施し、効果を挙げてきました。

今年度、新規行事として、災害や事故が起きた際にお互いに助け合うことができるよう、自治会員12名を集め、救急救命講習を開催しました。救急救命講習当日は、消防隊員2名の指導のもと、心臓マッサージや人工呼吸の方法、AEDの使用方法について人形を使った実習を交えて学びました。



のぼり旗

つかけになることが期待されます。



中学生も AED に挑戦

体験・取材した職員から一言！！

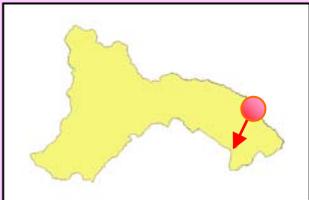


各自治会が自主防災に力を入れているところですが、計画的に救急救命講習を行い、「各世帯に一人は講習修了者」という、壮大な計画に驚かされました。参加された皆さんの真剣な表情から、非常時にはきっと今回の講習が役に立つと感じました。(拠点整備課 一本鎗)



参加された皆さんが、救急救命講習に真剣に取り組んでいたのが印象的でした。こうした日頃の活動が、いざという時に地域の力になるのだと感じました。10年という長い期間の計画なので、今後が楽しみです。(文化国際課 斉藤)

団体の基礎DATA



団体名◇谷戸自治会
創立年◇昭和50年
世帯数◇116世帯
代表者名◇熊耳 尚己さん



問い合わせ⇒熊耳尚己さんまで
電話 042-778-2254